

京都市の取組

令和7年5月20日
京都市都市計画局歩くまち京都推進室

「スローライフ京都」大作戦の位置付け

「歩くまち・京都」総合交通戦略2021の3つの柱

- 柱1 持続可能なまちづくりを実現する公共交通ネットワークの形成
（「公共交通ネットワーク」の取組）
- 柱2 誰もが「出かけたくなる」歩行者優先の魅力的なまちづくり
（「まちづくり」の取組）
- 柱3 歩いて楽しい暮らしを大切にするスマートな
ライフスタイルの更なる促進
（「ライフスタイル」の取組）



対象に応じたモビリティ・マネジメント（コミュニケーション施策）を「スローライフ京都」大作戦として展開

令和6年度の主な取組

対象	取組内容	ページ
家庭	「歩くまち・京都」憲章の普及啓発	4 ページ
	交通事業者と連携したMM	5 ページ
	地域と連携したMM	7 ページ
	転入者を対象とした情報提供	9 ページ
学校	教育現場と連携したMM	10 ページ
観光客	観光客を対象とした情報発信	13 ページ
新たな対象	新たな対象（大学生・小学生）に向けたMM	16 ページ
その他	交通事業者への支援など	17 ページ

「歩くまち・京都」憲章の普及啓発

「歩くまち・京都」憲章

わたしたちの京都では、市民一人ひとり、

1 健康で、人と環境にやさしい、歩いて楽しい暮らしを大切にします。

そして、市民と行政が一体となって、

1 だれもが歩いて出かけたくなる道路空間と公共交通を整え、
賑わいあるまちを創ります。

1 京都を訪れるすべての人が、歩く魅力を満喫できるようにします。



令和6年6月 バスマつり

- 印刷物への憲章の掲載
※環境副読本（小学校教材）、転入者向けリーフレット
- 小学校、中学校、高校での周知
※京都市立東山泉小中学校、京都市立下京中学校
京都教育大学附属桃山中学校、京都市立開建高校
- イベント会場での周知・啓発
※スルツとKANSAIバスマつり、京北ふるさとまつり等

交通事業者と連携したモビリティ・マネジメント

- 幹線系統補助路線の原・神吉線の利用促進を目的に、区役所の来訪者、区役所主催のマルシェ、地域イベント等で「アンケート」に御協力いただき、興味を持っていた方に「お試し乗車券」を配布



（実績）

- 令和6年度（令和5年10月～令和6年9月実施）
配布者数：728人（令和5年度230人）
※期間は国の補助対象期間と合わせている。

お試し乗車券

交通事業者と連携したモビリティ・マネジメント

- 京北ふるさとまつり出展
 - ・ 京北ふるさとバス 車両展示、乗車体験
 - ・ バスクイズ実施(景品としてバスカード、西日本ＪＲバスグッズを配布)



地域と連携したモビリティ・マネジメント

- 地域住民が主体となり実施する公共交通の利用促進等のMM事業に対して、事業実施に係る経費を支援

実施地域	令和6年度取組概要
北区柊野学区	市バ斯特37号系統の利用促進 ・利用調査、アンケート調査・ニュースレター発行
山科区鏡山学区	京阪バス鏡山循環バスの利用促進 ・バス利用者数調査　・利用促進チラシの配布　など
山科区西野・山階南学区	京阪バス「くるり山科」の利用促進 ・バス利用者数調査　・利用促進チラシの配布
西京区松陽学区	市バス69号系統の利用促進　・時刻表の作成、配布
西京区福西学区	市バ斯特西4号系統の利用促進・時刻表の作成、配布
西京区大原野学区	市バス西9号系統の利用促進　・時刻表の作成、配布
伏見区久我・久我の杜・ 羽束師地域	市バス南1号系統等の利用促進 ・MMニュースの発行
伏見区醍醐地域	醍醐コミュニティバスの利用促進 ・啓発チラシ、利用促進グッズの配布
右京区京北地域	西日本JRバス高雄京北線及び京北ふるさとバスの利用促進 ・誘客イベントの企画　など

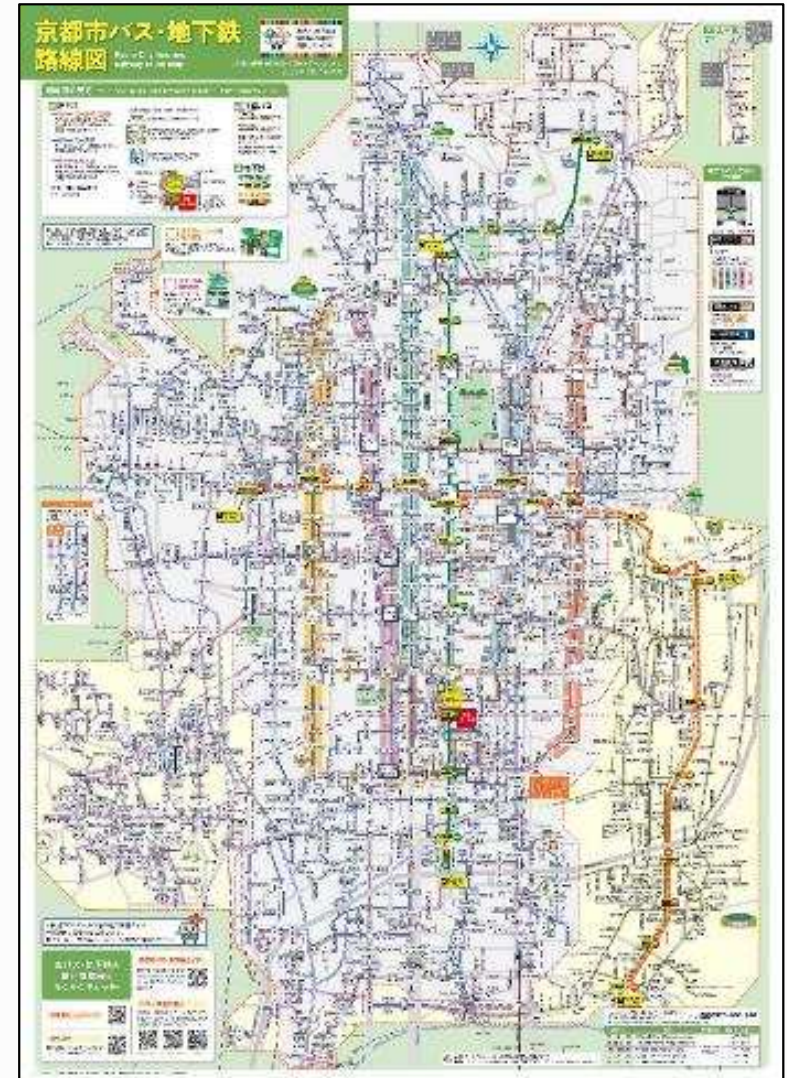
地域と連携したモビリティ・マネジメント

• これまでの地域MM実績

区	地域	実施年度	事業者	取組結果
北区	柊野学区	H25、30、 R元、2、4～6年度	市バス	特37号系統の本格運行(H29年3月)、 増便(H30年3月)、 路線延伸(R2年3月)
上京区	仁和学区	H29、30年度	市バス	52号系統の試行運行(H30年3月)、 本格運行(R3年3月)
左京区	岩倉幡枝 地域	H29年度	京都バス	国際会館駅を結ぶ路線の試行運行(R元年12月)、 本格運行(R4年12月)
右京区	南太秦 学区	H19、22年度	市バス	70号系統の運行(H20年1月)、 増便(H24年3月、H28年3月、R2年3月)
山科区	鏡山学区	H25～28、 R2、5、6年度	京阪バス	鏡山循環系統バスの本格運行2便(H27年3月)、 試行1増便(H29年10月)、 本格増便運行3便(R2年10月) 運行3便から6便へ増便(R6年10月)
西京区	松陽学区	H25、 R2、4～6年度	市バス	69号系統の増便(H28年3月)、 増便(H30年3月)
西京区	福西学区	H27、 R元～6年度	市バス	特西4号系統の平日運行(H28年3月)、 増便(H30年3月、R3年3月、R6年6月)
伏見区	久我・久我の杜 ・羽束師地域	H23、 R2～6年度	市バス	南2号系統の増便(H26年3月、H28年3月)

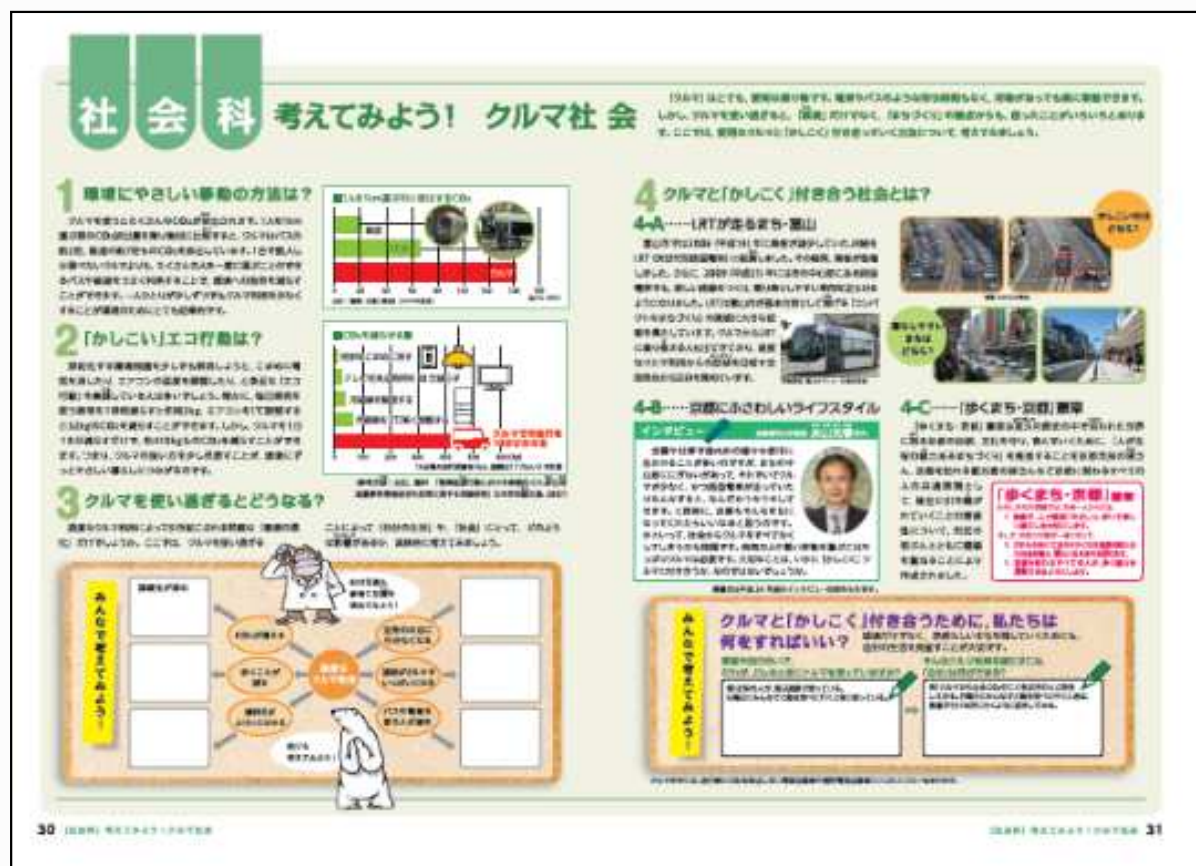
転入者を対象とした情報提供

- 各区のエコまちステーションにて、公共交通の利用方法等を掲載したリーフレットと市バス・地下鉄路線図を配布



教育現場と連携したモビリティ・マネジメント

- 市内の全小中学校及び総合支援学校に配布している環境副読本（環境問題を幅広く説明）「わたしたちの環境」（小学5年生用）、「私たちと地球環境」（中学生用）に、公共交通の利用に係る内容を掲載

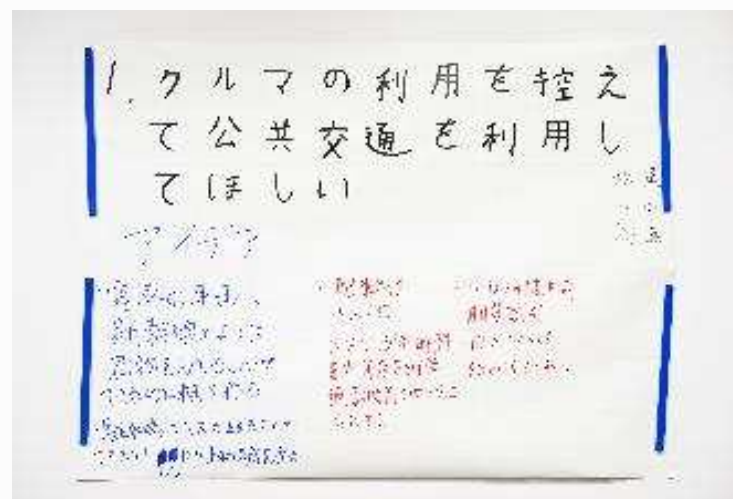


- 「歩くまち・京都」学習の取組
 - ・ 有志の中学校社会科教員や学識経験者と「歩くまち・京都」学習に係る勉強会を実施（3種類の授業モデル作成済み）
 - ・ 「歩くまち・京都」学習に資する新たな授業モデルの検討
 - ・ 授業モデル「過疎地域の交通」を活用した授業の実施
実施校　：京都市立洛北中学校（2年生社会科）
実施時期：令和7年2月
 - ・ 公開授業「地域の公共交通を考える授業」の実施
実施校　：京都市立西賀茂中学校（2年生道徳科）
実施時期：令和7年3月

教育現場と連携したモビリティ・マネジメント

- 総合的学習の時間を活用した取組

○京都教育大学附属桃山中学校の総合学習「生き方探求」
（2、3年生対象）において、公共交通をテーマに授業を実施（10月、11月）



○京都市立開建高校の総合学習「京都探求」（1年生対象）
において「考える素材」を提供。生徒は素材を基に探求活動
を実施（10月～令和7年2月）

（考える素材）・人と公共交通優先の「歩いて楽しいまち」を実現したい
・多様な移動手段を賢く使ってほしい

→あらゆる機会を捉えて教育現場でのMMを実施

観光客を対象とした情報発信（パークアンドライドの利用促進）

- 秋、春の観光シーズンに、京都観光の際の公共交通の利用促進及びパークアンドライド利用を周知・啓発するため、以下の取組を実施。

LINE公式アカウント、X、特設サイトや国道・府道上の道路情報板、高速道路SAの広報媒体等を活用した広報、重点利用促進駐車場への誘導看板の設置等

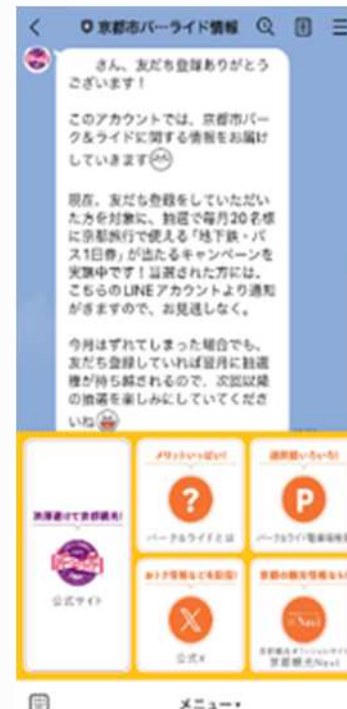
※太字は秋春ともに実施
並字は秋のみ実施



高速道路SAのテーブルステッカー



道路情報掲示板



LINE公式アカウント

【実績】※秋春ともに実施
令和6年度新規
○重点利用促進駐車場4箇所におけるパークアンドライド利用者に対する駐車場利用料金の無料対応
○日常生活・出発地、車内・経路、目的地直前の3つのタイミングに応じた効果的な情報発信を行うため、キービジュアルを刷新等特設サイトの改修、
「京都市パーク＆ライド情報」LINE公式アカウントの開設
○「イオンモール京都五条」（R5年度から実施）に加え、「イオンモール京都桂川」、「イオンモールKYOTO」の駐車場をP&R駐車場として開設 等

観光客を対象とした情報発信（京都駅一極集中の緩和）

- 京都駅への観光客等の一極集中による、京都駅と観光地を結ぶ一部バス路線の車内混雑緩和を図るため、鉄道事業者等とも緊密に連携し、旅行者の「日常生活・出発地」、「車内・経路」、「目的地直前」という3つの段階での情報発信により、地下鉄・鉄道利用を促すとともに、大阪方面から入洛する観光客に対しては、京都駅を経由しないルート等への案内・誘導を実施することで、移動経路の分散化を図った。

「日常生活・出発地」での取組

- 東京駅デジタルサイネージ及び新幹線駅の改札上モニター等を活用した推奨ルートの多言語発信
- 大阪府内等の旅客案内施設・宿泊施設等における、京都駅を経由しない入洛ルート等の情報発信
- 外国人観光客に向けた、デジタル広告を活用したサブゲート（地下鉄駅等）利用に係る情報発信
など



観光客を対象とした情報発信（京都駅一極集中の緩和）

「車内・経路」での取組

○JR西日本WESTビジョン及び東海道新幹線車内電光文字広告での推奨ルートの多言語発信 など

「目的地直前」での取組

○新幹線京都駅コンコース内に設置したデジタルサイネージ等を活用した京都駅前バス乗り場ライブカメラ映像・推奨ルートの多言語発信

○京都駅前における臨時交通案内所を核とした案内・誘導 など



新たな対象に向けたモビリティ・マネジメント

- 大学生と連携したMM

京都産業大学の学生と連携して、左京区北部山間地域の観光・お出かけスポット等を紹介するデジタルマップを作成。地域住民や観光客等にはリーフレット版を配布し、公共交通の利用を促進

- ・小学生やその保護者を対象としたMM

京北地域において、地域住民や交通事業者等と連携し、各体験メニュー(6つのプラン)を通じて、小学生やその保護者等が楽しみながら学べる、本市観光施策とも連動させた参加型の公共交通利用促進キャンペーン「いけいけ京北 親子でGO!」を実施



→幅広い対象へ向けたMMを実施

その他（洛西“SAIKO”プロジェクト）



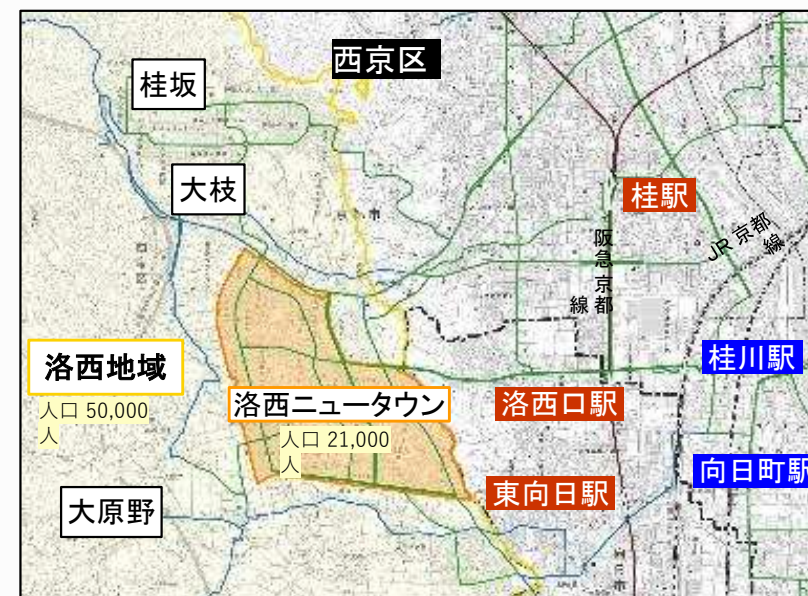
西京区洛西地域の持つ強みを活かしながら、地域の活性化に取り組んでいくため「洛西“SAIKO”プロジェクト」を立ち上げ、「交通のバージョンアップ」を掲げ、まちの賑わいに資する公共交通ネットワークの構築を目指した取組を進めている。

① バス路線網のブラッシュアップ

- ・ まちの中心（タウンセンター）と鉄道駅とを最短ルートで結ぶバス路線の新設
- ・ 洛西バスターミナルのリニューアル

② 運賃制度のシームレス化の推進

- ・ 民営バス敬老乗車証が洛西地域全体で利用可能に
- ・ 洛西地域の全ての路線バスでICカードが利用可能に
- ・ 市バスIC定期券で民営バスも利用可能に



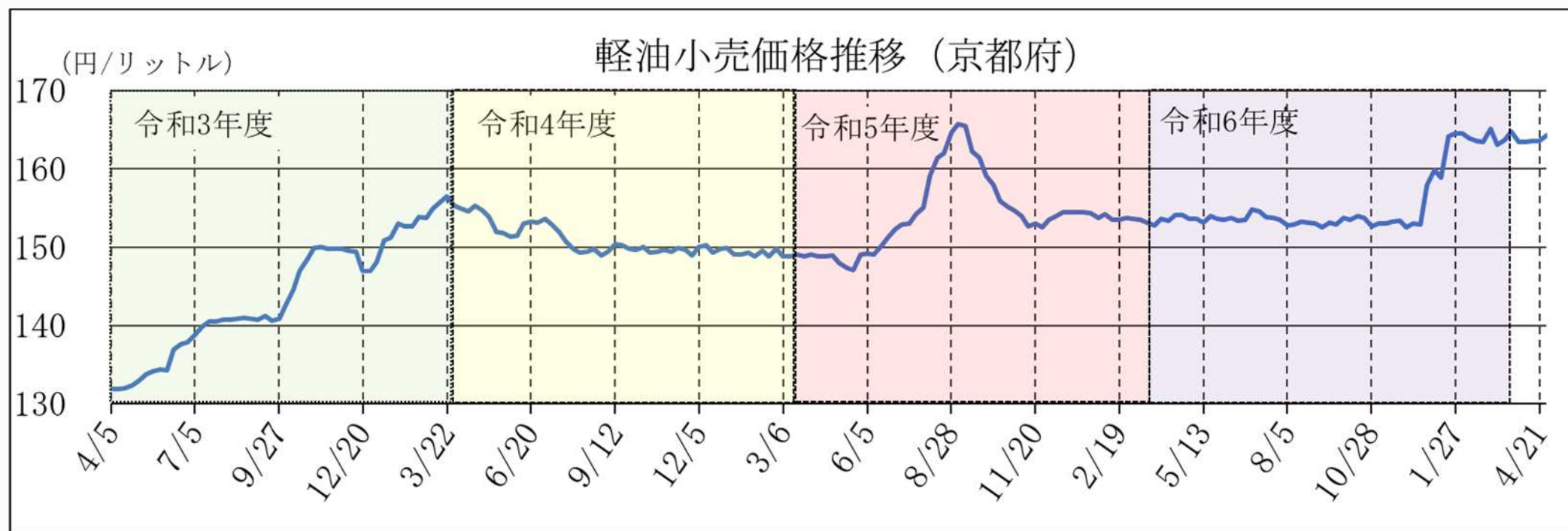
③ バスに乗ってSAIKO(さあ、行こう) キャンペーン

- ・ 地域の魅力・公共交通の便利さを交通事業者と連携しPR
- ・ 「公共交通マップ」の作成、地域への全戸配布
- ・ 地域住民による「モビリティ・マネジメント」の支援
- ・ 「洛西SAIKO！MOTTOおでかけ割」（小学生無料）の実施



その他（燃料価格高騰等に係る交通事業者への支援）

- 燃料価格高騰等により厳しい経営状況にある公共交通事業者に対して、運行維持に向けた支援金を交付
- 予算額：（令和7年2月補正）4,600万円



その他（バス路線維持支援事業）

- 予算額：（令和7年度）32,700万円
- 支援内容

(1) バス路線運行維持に対する支援

既存のバス路線廃止による新たな交通空白地を発生させず、市民生活に必要な路線を維持・確保するため、市域内を運行するバス事業者等を対象に、以下の要件を満たす路線に対する補助を実施

- ① 当該路線が廃止されることによって鉄道駅やバス停の一定距離圏内から外れる地域が発生すること
- ② 路線収支が赤字であること
- ③ 一定の市民利用がある生活路線であること
 - ・ 補助対象経費：補助対象路線の赤字相当額
 - ・ 補助率：1／2（民間バス等は4／5）

その他（バス路線維持支援事業）

- 支援内容

(2) モビリティ・マネジメントに対する支援

支援対象路線の利用を促すため、沿線の地域住民とバス事業者、京都市が一体となって実施するモビリティ・マネジメントの取組に対して、その必要経費（利用促進に向けた情報提供や啓発の実施等に係る経費）に対する補助を実施

- 補 助 率：1／2

（令和6年度の取組）

- 支援対象路線に関する情報を主要バス停に掲示
- 公共交通の情報を掲載したリーフレットを作成、配布
- 沿線地域PRマップ等の作成
- 小中学校用キャリア教育副教材への掲載
- 出前授業や乗り方教室の実施 など

その他（公共交通の担い手確保・定着に向けた取組）

- 担い手不足の深刻化により、影響が生じている生活交通（バス・タクシー・地域鉄道）を維持・確保していくため、公共交通事業者等が実施する担い手確保・定着に向けた取組への支援を実施
- 予算額：（令和6年度当初（二次編成））3,100万円
（令和7年2月補正）5,700万円

大型二種免許保有者数・交付件数（京都府）
（出典：警察庁「運転免許統計」）



京都市域交通圏の法人タクシーの運転者登録者数・平均年齢（出典：警察庁「運転免許統計」）



その他（公共交通の担い手確保・定着に向けた取組）

- **事業者の担い手不足対策の取組に対する支援**
（令和6年度当初（二次編成））

対象事業者：路線バス事業者、タクシー事業者、地域鉄道事業者及び各業界団体

対象経費：啓発ツール作成、イベントの実施、二種免許取得の教習経費、福利厚生に係る施設の整備など、担い手確保・定着につながる事業の実施に要する経費

- **バス事業者担い手確保検討WGの設置・運営**

令和6年1月に設置した「バス事業者担い手確保検討WG」において、バス事業者及び行政の連携により、担い手確保に向けた効果的な取組を検討・実施

その他（公共交通の担い手確保・定着に向けた取組）

- 事業者の担い手不足対策の取組に対する支援

（令和7年2月補正）

対象事業者：路線バス事業者、バス協会

対象経費：イベントの実施、二種免許取得の教習経費、福利厚生に係る施設の整備に加え、従業員の住居確保としての公営住宅等の改修など、担い手確保・定着につながる事業の実施に要する経費

- バス運転士の魅力ややりがいを伝える情報発信

投稿されたエピソードを活用した動画の配信や、バス事業者への就職喚起を目的としたラッピングバスでの広報を実施（予定）

令和7年度の取組（案）について

主な事業	内容
「歩くまち・京都」憲章の普及啓発	・印刷物への憲章の掲載 ・イベントへの啓発ブースの出展 等
交通事業者と連携したMM	・地域イベント等でのお試し乗車券の配布 等
地域と連携したMM	・地域が主体となったバス利用促進の取組への支援
転入者を対象としたMM	・転入者向けリーフレットの配布
教育現場と連携したMM	・中学校での「歩くまち・京都」学習の実施 ・環境副読本への公共交通に関する情報の掲載 等
観光客を対象としたMM	・パークアンドライドの利用促進 ・京都駅一極集中の緩和 等

上記のほか、これまで公共交通を利用していない層を含め、幅広いターゲット層（大学生、小中高生、高齢者、自家用車利用者、事業者など）に向けた取組を実施予定